

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館環境整備事業費（長寿命化計画外）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

岐阜県博物館 総務部管理調整 電話番号：0575-28-3111（内250）

E-mail：c21804@pref.gifu.jp

1 事業費 10,842千円（前年度予算額：2,404千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,404	0	0	0	0	0	0	0	2,404
要求額	10,842	0	0	0	0	0	0	0	10,842
決定額		0	0	0	0	0	0	0	

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

博物館は令和3年に開館45周年を向かえ、建物・設備の老朽化が進行している。長期間使用した設備は機能が著しく低下しており、収蔵品の管理、展示構成の面で支障をきたしている。また、長年改修を行っていない展示資料は陳腐化しているため、施設・資料の更新を行う必要がある。

（2）事業内容

収蔵庫用除湿器、LEDスポットライト、人文展示室の篠脇城イラスト、移動式展示ケースの代替による展示クオリティの向上。

（3）県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	455	老朽設備の更新・代替（LEDスポットライト）
備品購入費	10,387	老朽設備の更新・代替（移動式展示ケース）
合計	10,842	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・老朽化・安全性に対応する設備の維持管理。
- ・コロナ時代に対応したWebを活用した県民の満足度の向上。

（2）後年度の財政負担

- ・設備の維持管理のためや機器の老朽化に伴う更新は今後も必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
老朽設備の更新・代替において、貴重な収蔵品を管理できるよう、また、作品を安心して、適切に管理したうえで展示できるよう、設備を更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
博物館入館者数	249,375 (H30)			158,642 (R1)	200,000 (R6)	79.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
人文展示室の中世・近世エリアの改修
 - ・関ヶ原合戦解説コンテンツ
 - ・刀剣体験ケースデジタルサイネージの導入

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
岐阜関ヶ原古戦場記念館との相乗効果により人文展示室常設展の中世・近世エリアが充実した。
デジタルサイネージの導入により、わかり易い案内と幅広い情報発信で利便性が向上した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	現在、岐阜の戦国から関ヶ原の時期は県内外からかつてない注目が集まり、県民の学習意欲も高い状況である。この機に、貴重な文化財等の展示ができ、より充実した展覧会を県民に提供するために、移動式展示ケースの更新が必要である。これにより、多くの観覧者に対しても十分なサービスを提供することができると考えられ、この事業の必要性は高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	関ヶ原合戦解説コンテンツなどにより、関ヶ原合戦と岐阜の戦国に関する展示を充実させたことで、県民の学習意欲の向上につながり、十分なサービスの提供ができています。 デジタルサイネージの導入により、詳細かつ分かり易い広報活動により、催し物等の来館者への周知が可能となっている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	広報用のポスターの印刷・掲示の入替を手作業で行っていたが、デジタルサイネージの導入により、データを加工して掲示することができ、職員の業務時間の短縮につながった。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 老朽施設の更新・代替においては、適切な設備を導入するために日頃から情報収集を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 更新した移動展示ケースを使い、岐阜関ヶ原古戦場記念館と連携しながら、良質の資料を購入し来館者の利便性と博物館の魅力の向上を図る必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	